

1. 基本構想で示した施設整備に係る基本方針

- ① 安全でゆとりのある施設整備 : 児童生徒の学習及び生活の場として快適な空間となるように整備 など
- ② 特別支援教育を推進するための施設整備 : 障害種に配慮した棟や教室の配置 など
- ③ 児童生徒の主体的な活動を支援する施設整備 : 職業教育の充実を図るための施設整備 など
- ④ 耐久性、維持管理、更新性に配慮した施設整備 : 運営管理コストを抑制を考慮した施設の整備 など
- ⑤ 地域と連携した共生社会の実現に資する施設整備 : 地域の住民と交流できる施設の整備 など
- ⑥ 持続可能な社会の実現に寄与する施設整備 : 環境負荷低減に配慮した人・環境に優しい施設の整備 など

2. 基本計画に記載する内容

- ① 整備機能・規模：基本構想を踏まえ、想定敷地や学校施設の機能及び規模を定める。
- ② 施設配置方針：基本構想を分析し、施設配置について方針を定める。
- ③ 配置計画：敷地利用のゾーニング及び平時の動線及び災害時の避難動線について検討し、施設配置案を作成する。
- ④ 建築計画：計画書室規模、諸室配置、断面構成などを検討のうえ考え方を整理し、モデルプランを作成する。
- ⑤ 構造・設備計画：モデルプランに基づき、県産木材の利用や脱炭素化を加味して空調、換気、給排水、電気等の各設備の基本方針を定める。
- ⑥ 敷地地盤に関する計画：敷地の地盤条件等の状況把握のための事前調査を行い、敷地周辺に対する配慮事項を検討し、計画を作成する。
- ⑦ 外構計画：スクールバス及び保護者等による児童生徒の送迎、歩車分離等安全性を踏まえ、周辺道路、公共交通等の関連する基盤整備条件等を考慮した外構計画を作成する。
- ⑧ 事業実施手法の検討：整備手法について、事業費の削減や事業期間の短縮などを考慮し、従来方式、D B方式のうち本業務に最も適した手法を検討する。
- ⑨ 概算事業費の検討：①～⑧で整理した方針を基に整備した場合の概算事業費を算出する。
- ⑩ 事業スケジュールの作成：開校までのスケジュールを検討する。
- ⑪ イメージ図の作成：モデルプランに基づき、施設のイメージパースを作成する。

→主に①から⑦について、どのような考えをベースに作成するのか各委員からご意見をいただく。

基本構想にある「施設整備に係る基本方針」やアンケートの結果も踏まえ、次回検討委員会までに別紙様式にご意見をいただきますようお願いいたします。